

ちいき新聞

2017年4月21日号

北越谷版

発行部数39,064部

VOL.341 全57版

総発行部数2,127,659部



今週の見どころ

- ☆一之瀬一彦の親子の約束
- ☆座談会「キッズケータイ」
- ☆かしこいお金の増やし方
- ☆この人 島根孝一さん

ちいき新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは

読者サポート ☎ 0120-152-337 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み

✉ kita-koshi@chiikinews.co.jp

この人

越谷の魅力を
オリジナルの歌で演奏島根孝一さん
(越谷市在住)

越谷の魅力を詠みこんだ自作の歌をイベントなどで披露、CDも制作して配布している島根孝一さん(66)。レコーディングや練習は、本業の洋品店の店内で行っているそうだ。

会長に頼まれ商店会の歌を作詞・作曲

越谷市大沢で洋品店を営む島根さん。町おこしのTシャツ作りに携わったことで、地域に関心を持ち始めた。学生時代、音楽が趣味だったことも



町おこしのためにTシャツも製作

あり、大沢商店会会長の桃木さんから「大沢商店会をもっと宣伝するために、会の歌を作ってほしい」と依頼され、作詞・作曲したのが「鴨運大沢商店会」。

その後、大沢地区の歌をと地元有志に頼まれて「大沢音頭」が誕生。もともと越谷全



オリジナルCDの数々

体をアピールできる歌なら、多くの人に関心を持ってもらえるのでは、と思い立ち、「デイスカパー越谷」が誕生する。

アコースティック・ギターの響きに乗せ、市内の名所や名物を島根さんが澄んだ声で次々に歌う。現在は、越谷市役所脇のウッドデッキで毎月第2火曜日に開かれる「水辺の市」や、介護施設のボランティアなどで披露、なじみのある

地名が出てくると聴衆も好反応だとか。

練習、レコーディングは閉店後の店内で

歌の練習は閉店後の店内で。演奏をパソコンに取り込んでCDを自作、イベントなどで配布している。すべて自腹だが「趣味だと思えば安いものです」と笑う。地元のミュージシャンたちとの交流も広がっている。

「デイスカパー越谷」CDジャケットの川沿いの景色は、島根さんお気に

入りの風景。「身近に素晴らしい場所がいっぱいあることをもっと知ってほしい。越谷はすてきな町なのです」と語る。新曲をイベント会場などで耳にできる日が楽しみだ。

(アツ)

※問い合わせ

TEL 048(976)5943

シマネヤ



「ギターは学生時代から」と島根さん